

ハードウェア装置名		EX2-3500/EX2-3200	EX2-1100B	
ソフトウェア名		EX2-3000 NW ソフトウェア V01	EX2-1000 NW ソフトウェア V01	
IPルーティング	IPv4	Static、RIPv1/v2、OSPFv2、BGPv4		
	IPv6	Static、RIPng		
PPPoEクライアント		●		
FNAルーティング		—	○	
Link Aggregation		●	—	
VLAN		●		
アドレス変換機能 ^{※1}		●		
UTM				
ファイアーウォール ^{※1}	最大	性能 ^{※2}	15Gbps	5Gbps
		セッション処理性能 ^{※3}	120,000セッション/秒	78,000セッション/秒
	サイジング用性能 ^{※4}	7Gbps	3.5Gbps	
	最大同時セッション数	2,000,000	200,000	
	アノマリ型IPS ^{※1}	●		
シグネチャー型IPS ^{※1} ^{※5} ^{※6}		○		
アンチウイルス ^{※5} ^{※6}		○		
クラウドサンドボックス ^{※5} ^{※6}		○		
Webコンテンツ・フィルタリング ^{※5} ^{※6}		○		
WAF		—		
VPN				
IPsec-VPN ^{※1} ^{※7}	最大性能 ^{※8}	暗号カードA2E×1 利用時： 3.5Gbps	0.6Gbps	
		暗号カードA2H×1 利用時： 5.5Gbps		
暗号カードB2×1 利用時： 7.0Gbps				
L2TP/IPsec ^{※7}		○		
帯域制御 ^{※1}		●		
最大	制御可能帯域幅 ^{※2}	13Gbps	4.5Gbps	
	セッション処理性能 ^{※3}	100,000セッション/秒	74,000セッション/秒	
	サイジング用性能 ^{※4}	6.0Gbps	3.5Gbps	
	最大同時セッション数	2,000,000	200,000	
サーバ負荷分散		—		
SSLアクセラレーター		—		
HTTP/HTTPS圧縮		—		
リンク負荷分散 ^{※1}		●		
認証・検査ゲートウェイ		○		
クラウドプロキシ ^{※9}		○		
ドメインリスト管理 ^{※9}		○		
標的型攻撃対策連携 ^{※6}		○		
信頼性 ^{※1}	ホットスタンバイ	●		
	LAN二重化	●		
	ゲートウェイ・フェールオーバー	●		
保守・運用管理		日本語WebUI (https)、CLI (telnet, SSHv2)、SNMP (v1/v2c/v3)、NTP、syslog、メール通知、ビジュアライザ機能 ^{※6}		

- 標準機能
- オプション機能 (ライセンスが必要)
- ※1 IPv6サポート。
- ※2 1518バイト長のデータをUDP 通信で測定した値。
- ※3 128バイト長のファイルをHTTP通信で1秒間にダウンロードする値。
セッション数/秒は、TCPコネクションの確立、ファイルのダウンロード、TCPコネクションの切断を行う一連の処理を1セッションとした1秒間の処理数。
- ※4 128Kバイト長のファイルをHTTP通信で測定した値。
- ※5 IPCOM セキュリティサポートサービスが必要。
- ※6 ハードディスクオプションが必要。
- ※7 EX2-3500/EX2-3200はソフトウェア暗号に加え、暗号カードA2E、暗号カードA2Hまたは暗号カードB2が使用可能。EX2-1100はソフトウェア暗号のみ。
- ※8 1400バイト長のデータをUDP通信で測定した値。
- ※9 クラウドサービス制御ライセンスが必要。